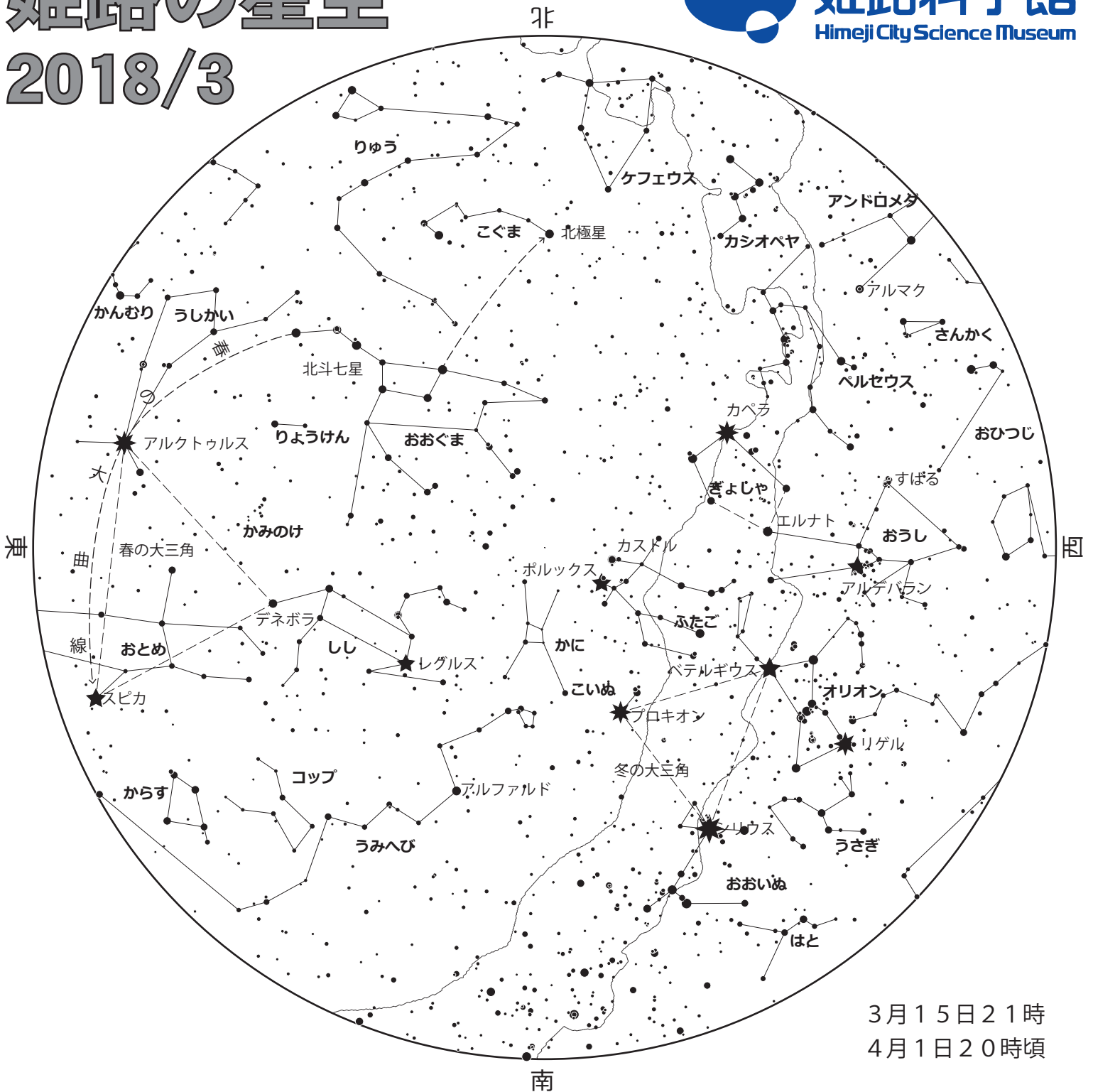


姫路の星空

2018/3



姫路科学館
Himeji City Science Museum



3月15日21時
4月1日20時頃

春の霞んだ空では星の輝きもはっきりしませんが、西に移った冬の星たちには明るい星が多く、にぎやかです。中でも、結んだりボンや砂時計のように見える**オリオン座**が目立ちます。オリオン座には2つの1等星ベテルギウスとリゲルがあります。リボンの結び目にあたる「三つ星」を左下にのぼすと、恒星では全天一明るい、**おおいぬ座**のシリウスが目立ちます。シリウスと**こいぬ座**のプロキオン、オリオン座のベテルギウスを結び、冬の大三角ができます。西の空には**おうし座**のアルデバランや星の集まり「すばる」が見つかります。おうし座の北側の五角形**ぎよしゃ座**にはカペラが目立ち、南西の空高くには、**ふたご座**のカストル、ポルックスがなかよくなっています。

東の空には、春の星座の**しし座**が見えます。胸に輝くのがレグルスです。しし座の北側には、北斗七星が見えます。北斗七星から、**こぐま座**の北極星を見つけましょう。北斗七星は星座ではなく、**おおぐま座**のお尻と尻の星たちです。尻の星をのぼしたカーブ「春の大曲線」をたどると、**うしかい座**のアルクトゥルス（クマの番人）と**おとめ座**のスピカが見つかります。春の大曲線をさらにのぼすと**からす座**です。また、春の星座の南側に横たわるのが全天一大きな星座の**うみへび座**です。うみへび座の心臓に位置するアルファルド（孤独の星）も見逃さないでください。